

ひまねき

警固屋学園通信
第62号
27. 6. 10

第七回警固屋学園運動会開催!

五月二十四日(日)、第七回警固屋学園運動会が開かれました。

直前まで雨の心配をしていましたが、当日はさわやかな五月晴れとなり、絶好の運動会日和となりました。

今年のスローガンは、「魅せてやる! レヴェルの違う 演技力」でした。各学年、赤白のチームで競技や演技をさらにレヴェルアップさせ、質の高い運動会を目指しました。



特に、学年を超えてバトンをつなぐ赤白対抗リレーでは、一段と大きな声援が起こり、

盛り上がりました。学年を超え、小中の垣根を越えて、一つになって応援できる温かい雰囲気も、小中一貫校ならではのものです。



結果は、白組の劇的な逆転勝利となりました。嬉しい思いも、悔しい思いも児童・生徒にとってはかけがえのない思い出となったことでしょう。

中学生の「五七五」

- ◇《七年生》
◇目標を 大きく超えた 闘争心
- ◇大逆転 あきらめなかった 運動会
- ◇《八年生》
◇学園の レヴェルの高さ 魅せつけた
- ◇運動会 一生懸命 やりきった
- ◇《九年生》
◇一つになり 警固屋の絆 深まった
- ◇運動会 本気の自分を 追い抜いた

小学生(六年生)の感想

- ◇運動会の練習で、頑張りたいと思ったことは、騎馬戦と応援とリレーです。理由は、リレーと騎馬戦では、みんなのチームワークが協力が一番大切だからです。応援は、みんなが笑顔になれるし、「がんばるぞ!」という気持ちにもなれるからです。
- ◇開会式の時、児童代表が言ったように、小学校最後の運動会になるので、頑張りました。特に応援合戦を頑張りました。とてもいい運動会になりました。

小学校一年生の保護者より

- ◇運動会では、入学して二ヶ月ですが、成長した姿を見せていただきありがとうございました。学園全体が一つにまとまり、すばらしかったですね! 楽しませていただきました。
- ◇保育所では、よく前の友だちに話しかけていましたが、開会式等も「気をつけ」をちゃんとできてびっくりしました。成長を感じてとても嬉しく思いました。行進も元氣よく手をふって、種目もそれぞれよく頑張っていたと思います。

運動会終了後は、保護者・地域の方々にテントなどの片付けをご協力いただきました。ありがとうございました。

吉川英治文学碑記念祭で表彰!

五月三日に吉川英治文学碑記念祭が音戸の瀬戸公園で開催されました。そこで、警固屋小学校・中学校で取り組んでいる「読書貯金」の表彰がありました。

「読書貯金」とは、毎日の朝読書の時間などに読んだ本のページ数を「読書貯金通帳」に記録し、たくさんの本を読もうという取組です。一番多くの本を読んだ人の記録は、六〇一八九ページです。表彰された児童・生徒は次の通りです。

◆低学年の部（一・二・三年生）

村上 初希・片山結那・大谷心音

◆高学年の部（四・五・六年生）

三宮いちる・柏原大希・深草慶汰

◆中学生の部

中原有捺・灰原優希・中本智菜



たくさんの本を読み、いろいろな世界に触れることで豊かな心を育んでいってほしいものです。

いじめ撲滅キャンペーンの取組

六月八日から七月八日までは、「いじめゼロ」を目指す「いじめ撲滅キャンペーン」期間です。

中学校では、取組の一つとして、いじめをなくすための標語を全校生徒から募集しました。六月二日の、学園朝会では、その標語の優秀作品が披露、表彰されました。



最優秀作品には、八年生の杉山亮太くんの作品『許されない いじめは心を 奪い取る』が選ばれました。杉山くんは「人を傷つけるひどい言葉やいじめは、一生懸命頑張ろうとしている人の心をだめにしてしまう。だから許されない。」という思いをこの作品に込めたそうです。

いじめがなく、全員の児童・生徒が、明るい気持ちで過ごせるよう学校でも取り組んでまいります。地域の皆様も御協力よろしくお願い致します。

ホッと・ハート・メモ

小学校一年生の保護者の方から、「運動会では」中学三年生は走るだけでもすごい迫力！久々に興奮しました。」という感想をいただきました。
小中合同の学園運動会だからこそ、9年後の中学3年生の姿を見る機会があるのでですね。子どもが成長していく様子がイメージできます。
それに、きつこご自分が中学生だった頃のこと、思い出されたのでしょうか。運動会あの興奮・・・皆さんの心の中にもそんな思い出があるのではないのでしょうか。

《編集後記》

夕方になると、家の近くの貯水池から、蛙の声がかこえてきます。雨に降られて一層元気がよい大合唱になりました。
皆様、梅雨の時期になりましたが、元気に過ごしましょう。
ご意見・ご感想は、警固屋小学校・中学校にお寄せください。窓口は各教頭が担当いたします。